



沖歯科医院便り

発行/沖歯科医院 〒053-0855 苫小牧市見山町4丁目1-6

☎0144(72)8558 0800(800)8545

<https://www.oki-dentalclinic.com/>



糖尿病を予防したければ歯医者へ行け：日本経済新聞

日本経済新聞の電子版に「糖尿病を予防したければ歯医者へ行け」という特集が掲載されたのをご覧になった方はいらっしゃいますか？日本の糖尿病患者は予備軍も含めると2200万人。最近の研究で歯周病が糖尿病に深く関わっていることが分かってきています。

糖尿病が原因で起こるさまざまな合併症の一つが歯周病です。糖尿病があると歯周病になりやすく歯周病が悪化しやすいのです。また逆に歯周病があると、糖尿病になりやすく糖尿病が悪化しやすくなります。まさに悪循環です。

歯周病は歯ぐきなどに炎症が起こる病気で、さまざまな細菌が繁殖したかたまりのプラークが原因です。進行すると歯と歯ぐきのすき間「歯周ポケット」が広がります。自覚症状がほとんどないまま長い年数をかけて進行し、歯を支える骨も壊れ、最後には歯が抜けてしまいます。

糖尿病では免疫が低下することが知られています。白血球などの働きが低下し、さまざまな感染症にかかりやすくなり、プラークの菌に対しても抵抗力が低下するため歯周病になりやすくなります。また、高血糖の影響で歯のさまざまな組織が劣化したり、歯の周囲の血行が悪くなることも関係すると考えられます。では、歯周病はなぜ糖尿病に影響するのでしょうか。1つは、歯周病の菌から出る毒素が血液を介して全身に広がり、それがインスリンの働きを低下させ血糖値を上げると考えられます。もう1つは、歯周病による炎症が関係します。炎症は生体の傷害に対する防御反応ですが、その防御反応のため特殊な細胞が集まってきます。またさまざまな伝達物質（炎症物質）が体内を駆けめぐります。そうした細胞や炎症物質が、やはりインスリンの働きを妨げてしまうと考えられます。

糖尿病の人が歯周病を治療すれば、糖尿病の改善も期待できますので、積極的に歯科を受診し歯周病の早期発見や早期治療に努めましょう。

歯とお口に
まつわる歴史

デンタルヒストリア



スリランカでは“仏歯”が王権の象徴だった？

スリランカには**仏歯**を祀っている**仏歯寺**があります。言い伝えによれば、仏歯とは**仏陀**(お釈迦様)が火葬された時に残ったものだそうです。もともとはインドにありましたが、戦火を逃れるためにスリランカへと渡りました。特別な日にだけゾウの背中に乗せてお披露目されていた仏歯は、人々の信仰の対象になったそうです。王族が管理・保管していた仏歯は王権の象徴となり、都が移るたびに仏歯寺を建てて祀られました。ちなみに現在は、1日3回の礼拝の時間に、**仏歯が入った黄金の容器**を見ることができるようですよ。

